

Consolidated Business Results & Forecasts

2023年3月期 第1四半期決算説明会

2022年7月27日

株式会社SCREENホールディングス

内容：

- ・ 1Q 連結決算の概要 専務取締役（CFO） 近藤 洋一
- ・ 事業環境および業績予想 代表取締役 取締役社長（CEO） 廣江 敏朗

資料取り扱い上の注意

- ・ 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- ・ 本資料では、例えば、「FY2023/03」と示す場合、2022年4月1日～2023年3月31日の会計期間を表します。

1Q 連結決算の概要

2022年7月27日

株式会社SCREENホールディングス
専務取締役 最高財務責任者 (CFO)

近藤 洋一

1Q 連結決算の概要

1Q決算実績

- 全社>>
 - ・業績堅調、売上、利益ともに1Qとしては過去最高
 - ・前年同期比増収増益、営業利益は2倍、当期純利益は2.6倍
部材不足、物流コストがアップする中、順調な滑り出し
- SPE>>
 - ・全社業績を大きく牽引。売上、営業利益（率）ともに1Qとしては過去最高
 - ・営業利益率は22.3%、受注高は想定通り
- CFは安定推移、ネットキャッシュ1,180億円

FY2023/03 1Q 連結業績

前年同期比

(億円)	FY2022/03					FY2023/03			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比		
売上高	828	1,043	1,039	1,207	4,118	1,018	189	22.9%	
営業利益 営業利益率	86 10.5%	153 14.7%	160 15.5%	211 17.5%	612 14.9%	178 17.5%	91	105.3% 7.0pt	
経常利益	86	151	161	195	594	182	95	110.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	115	120	158	454	160	100	164.6%	

FY2023/03 1Q 連結業績 前年同期比

(億円)	FY2022/03					FY2023/03		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前年同期比	
売上高	828	1,043	1,039	1,207	4,118	1,018	189	22.9%
SPE	597	816	846	932	3,193	846	248	41.6%
GA	96	112	99	123	433	105	9	9.5%
FT	102	72	55	101	332	30	△72	△70.3%
PE	23	34	33	40	133	33	9	42.6%
その他および調整	8	5	2	8	25	2	△5	△72.1%
営業利益	86	153	160	211	612	178	91	105.3%
営業利益率	10.5%	14.7%	15.5%	17.5%	14.9%	17.5%		7.0pt
SPE	88	154	171	214	628	188	99	111.9%
GA	2	4	4	5	16	6	4	156.4%
FT	2	△0	△3	7	5	△8	△10	-
PE	2	7	6	5	20	4	2	122.1%
その他および調整	△8	△10	△17	△21	△58	△12	△3	-
経常利益	86	151	161	195	594	182	95	110.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	115	120	158	454	160	100	164.6%

■ SPE：半導体製造装置事業 ■ GA：グラフィックアーツ機器事業
■ FT：ディスプレイ製造装置および成膜装置事業 ■ PE：プリント基板関連機器事業

FY2023/03 1Q 連結業績

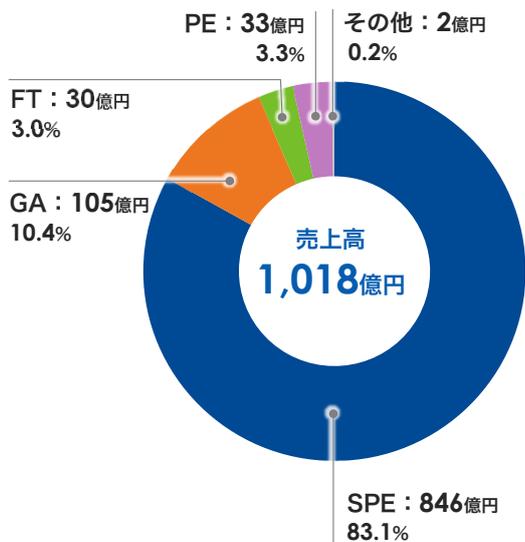
セグメント別

■ 前年同期比 (YoY) □ 4Q比 (QoQ)

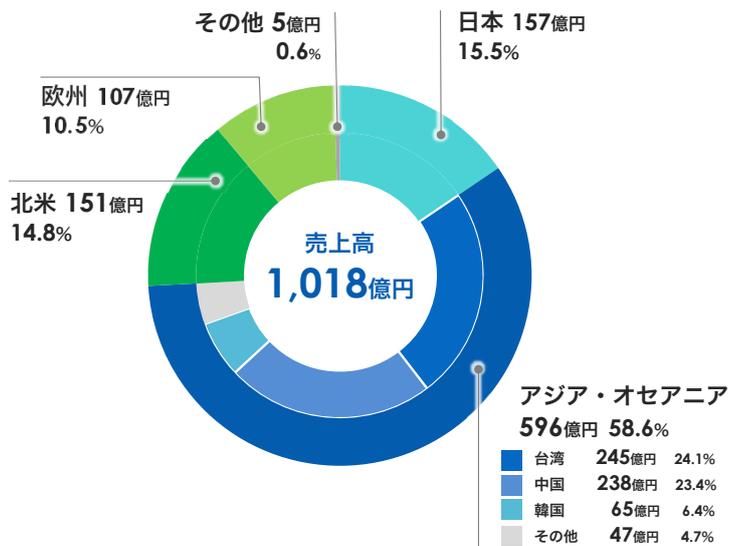
	(億円)	FY2022/03					FY2023/03		
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	YoY	QoQ
SPE メモリー向けは減少したものの、ファウンドリー、ロジック向けの売上増加。台湾、北米向けの売上増加	売上	597	816	846	932	3,193	846	248	△86
	Flashの売上増加	営業利益 営業利益率	88 14.9%	154 18.9%	171 20.2%	214 23.0%	628 19.7%	188 22.3%	99 7.4pt
GA PODなどの装置、リカーリングビジネス (RB) ともに売上増加	売上	96	112	99	123	433	105	9	△18
	RBの売上は高位安定	営業利益 営業利益率	2 2.7%	4 3.6%	4 4.3%	5 4.3%	16 3.8%	6 6.4%	4 3.6pt
FT 上海ロックダウンの影響などを受け、売上、利益ともに減少	売上	102	72	55	101	332	30	△72	△71
	売上の大幅減少により、利益も減少。2Qでの回復見込む	営業利益 営業利益率	2 2.2%	△0 △0.9%	△3 △5.5%	7 7.2%	5 1.8%	△8 △27.0%	△10 △29.2pt
PE データセンター需要の拡大を受け、直接描画装置の売上、利益ともに増加	売上	23	34	33	40	133	33	9	△7
	利益率は高位安定	営業利益 営業利益率	2 9.0%	7 21.0%	6 17.8%	5 12.9%	20 15.6%	4 14.0%	2 5.0pt

FY2023/03 1Q 連結業績

セグメント別売上高



地域別売上高



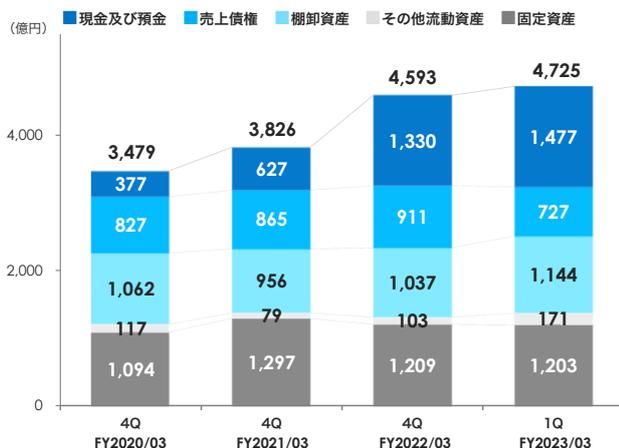
連結受注高／受注残高の四半期推移



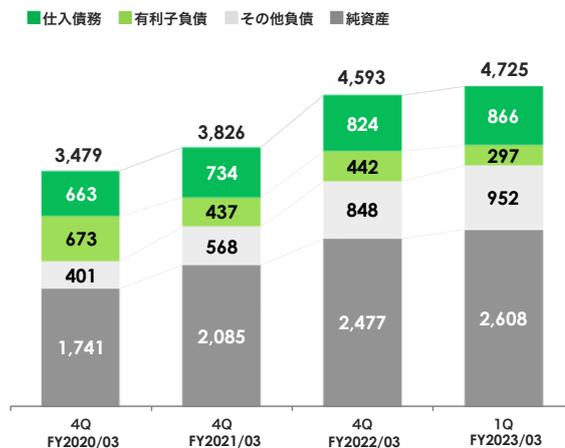
- 全社の1Q受注高は、7四半期連続の1,000億円超えの高水準となりました
SPEの1Q受注高は、1,000億円水準を継続し、1,043億円となりました

財務状況：連結貸借対照表

資産



負債および純資産



■ 自己資本比率は55.2% (FY2023/03 1Q)

■ 1,180億円のネットキャッシュ

●総資産：4,725億円となりました

●資産の部

・売上債権が減少した一方、現金及び預金や棚卸資産が増加したことなどから、前年度末に比べ132億円増加し、4,725億円となりました

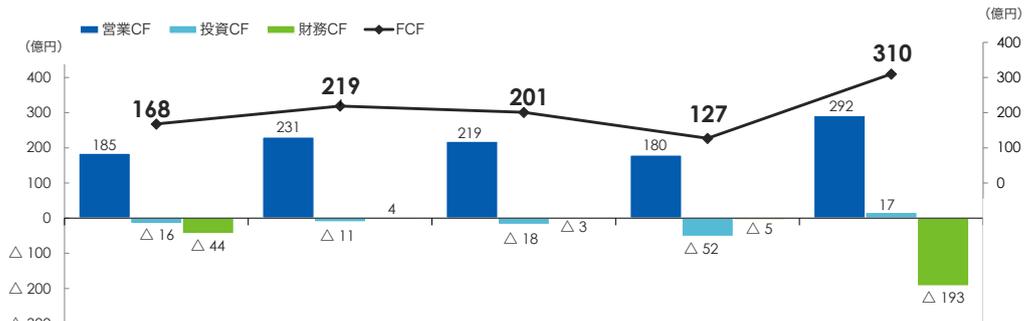
●負債および純資産の部

・負債は、転換社債型新株予約権付社債が減少した一方、其他流動負債や契約負債が増加したことなどにより、前年度末に比べ、1億円(0.1%)増加し、2,116億円となりました

・純資産は、配当金の支払いの一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や転換社債型新株予約権付社債の転換による資本剰余金の増加や自己株式の減少などにより、前年度末に比べ、131億円増加し、2,608億円となりました

●以上の結果、自己資本比率は55.2%でした

財務状況：連結キャッシュ・フロー



(億円)	FY2022/03				FY2023/03
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業CF	185	231	219	180	292
投資CF	△16	△11	△18	△52	17
FCF	168	219	201	127	310
財務CF	△44	4	△3	△5	△193

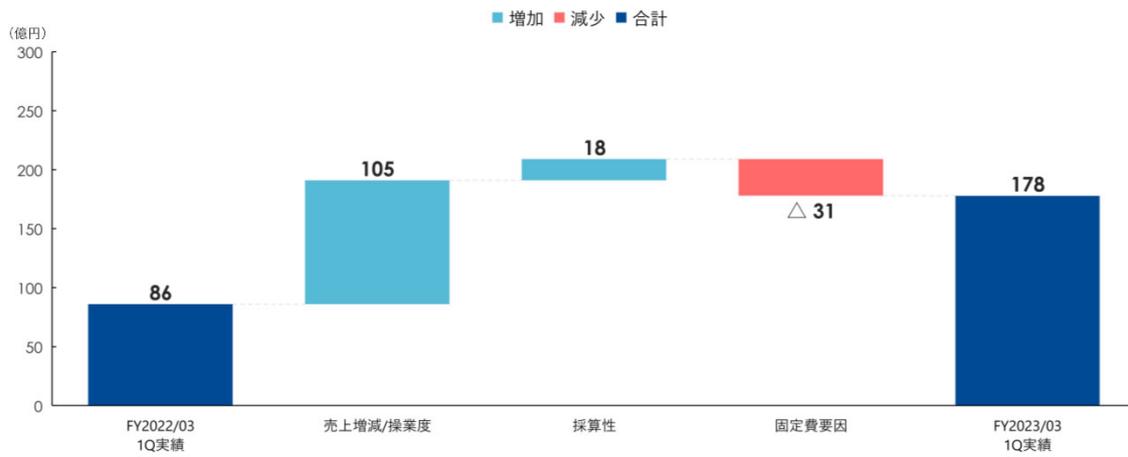
主な内訳
 ・配当 △133
 ・CB償還 △56

※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

■ 営業CFは営業利益を超える水準継続。四半期としては過去最高

営業利益増減分析

■ FY2022/03 1Q実績 vs FY2023/03 1Q実績



>>採算性改善は、主にSPE

>>固定費の増加は主にSPE。成長に向け、人件費、業績連動賞与、研究開発費などが増加

開示項目の見直しにつきまして

■ 受注高・受注残高：

今期（2023年3月期）から、実績値、および、予想値についての定量的開示を取り止めます。但し、1Qにつきましては、移行期間として実績値のみ開示いたしました。

■ 変更の理由：

短期での変動が大きい受注高関連情報は、中長期の市場動向や当社事業の状況を表す指標として適切ではなくなっていると判断いたしました。

■ 新たな開示項目（対話の補足情報）：

従来からの売上予想に加え、主力の半導体関連事業（SPE）のアプリケーション別・売上高比率予想の開示などにより、資本市場の皆様と一層の対話充実を図ってまいります。

事業環境および業績予想

2022年7月27日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO）

廣江 敏朗

事業環境および業績予想

■ 事業環境

- SPE
 - ・ファウンドリー、ロジック中心に設備需要は依然強い
 - ・1Qとしては、売上、営業利益、営業利益率ともに過去最高
 - ・部材不足の影響を受け、上期予定の売上が下期に一部スライド
- GA、PE：売上、利益ともに堅調な滑り出し

■ 通期業績予想

- 通期予想に変化なし（5月予想、据え置き）
 - 収益性、効率性の改善により売上、利益ともに過去最高を更新予定
 - 下期、部材価格の高騰を織り込む
- 持続的な成長に向け、
設備投資（5月予想から引き上げ）、研究開発、減価償却はいずれも過去最大に
- 長期的な視点に立ち、生産・サービス拠点の整備、設備能力拡充・強化（彦根、高岡、熊本、福島）
- 中期経営計画：経済的価値の目標更新

セグメント別概況

市場動向および見通し

- **WFE**：ファウンドリー・ロジックの投資意欲は先端から成熟ノードまで依然衰えず
 - ・部材不足の影響による納入タイミング調整はあるものの、設備投資計画は着実に進行
 - ・CY2022は前年比10～15%程度の伸びを予想（\$100～105bn程度）

- **アプリケーション別の動向**：

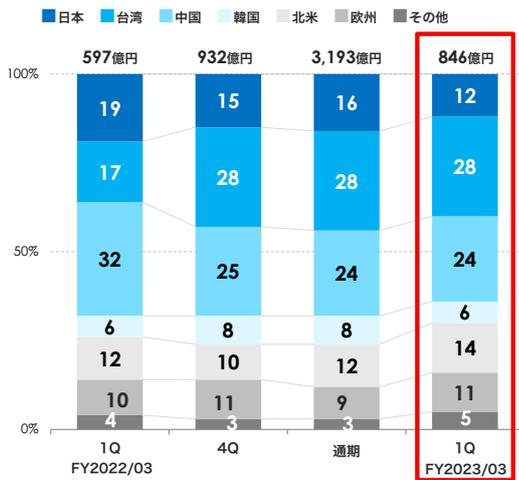
ファウンドリー	先端デバイスの生産能力拡大だけでなく、成熟世代の生産拡大も進行
ロジック	最先端デバイス向け投資計画も進行
メモリー	投資時期・規模調整の可能性に注視、DRAM微細化、NAND積層化へ流れは継続
画像素子	既存大手投資計画は堅調に推移。ファウンドリーでの生産拡大も進行
パワー	欧州大手中心に、日本・アジア地域での投資も堅調に推移
中国市場	成熟ノードファウンドリーやメモリーの投資意欲は依然活発
その他	アナログ、センサー、光学なども堅調な投資が続く

- ▶ 微細化に伴う洗浄ニーズが高まる先端～ボリュームゾーンから成熟ノードまで、多様なソリューションを提供
→供給責任を果たすべく、更なる生産・開発体制の強化で臨む

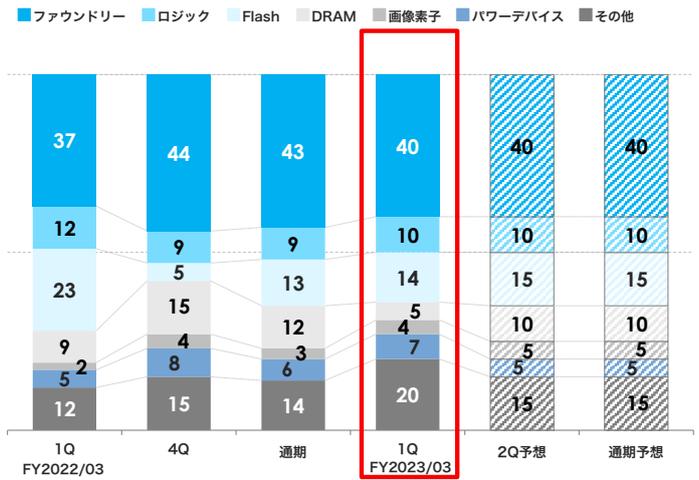
SPE

売上高比率>> 連結・地域別 / 単独・アプリケーション (デバイス) 別

連結・地域別 - 仕向地ベース



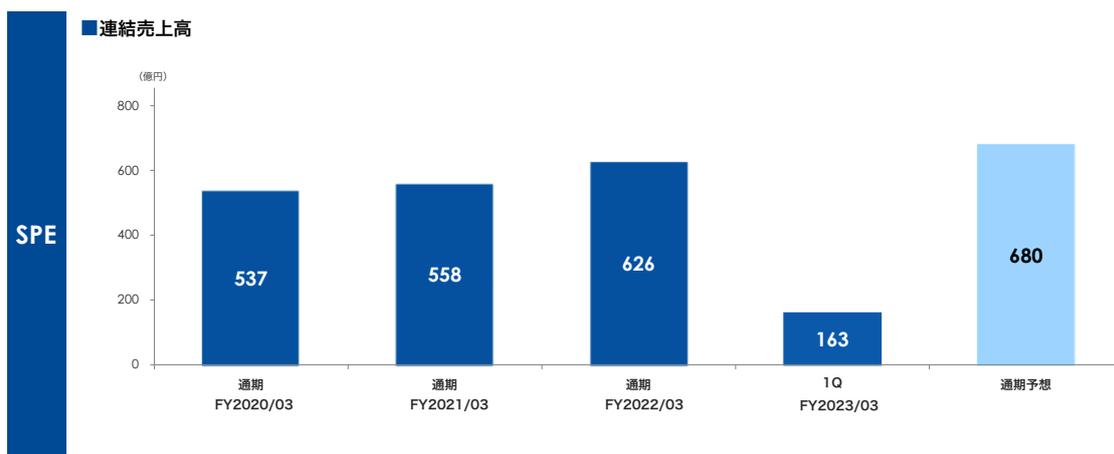
単独・アプリケーション (デバイス) 別



*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

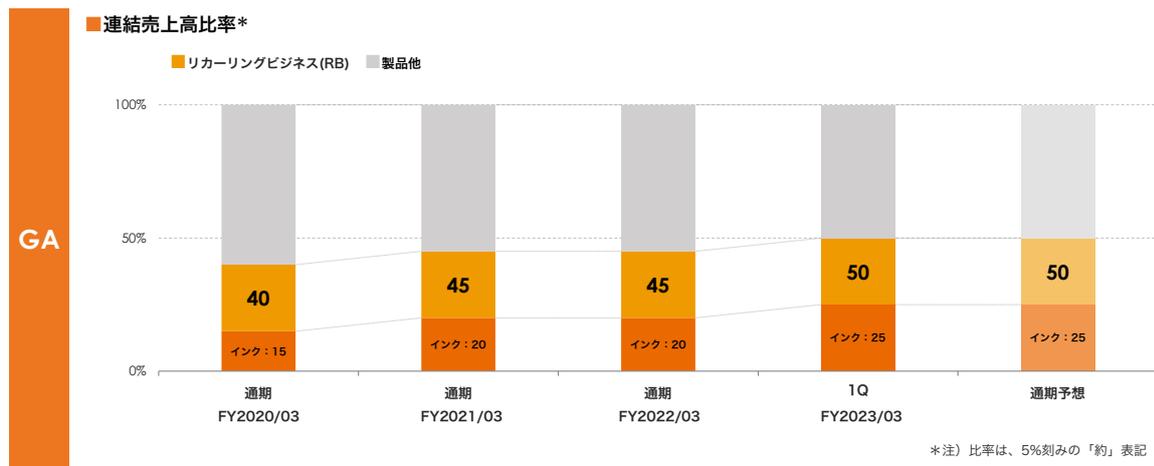
■ 地域別：(YoY) 台湾大幅増。北米増 (QoQ)：北米大幅増
 ■ アプリケーション別：(YoY) 「その他」大幅増、ファウンドリー増 (QoQ)：Flashと「その他」大幅増

■ ポストセールス (PS)



- 1Q : 4Qに続き、1Qもパーツ販売が好調
- 今後 : 増加した新規納入装置向けのメンテナンス、改造などで、さらなる営業利益率改善に期待

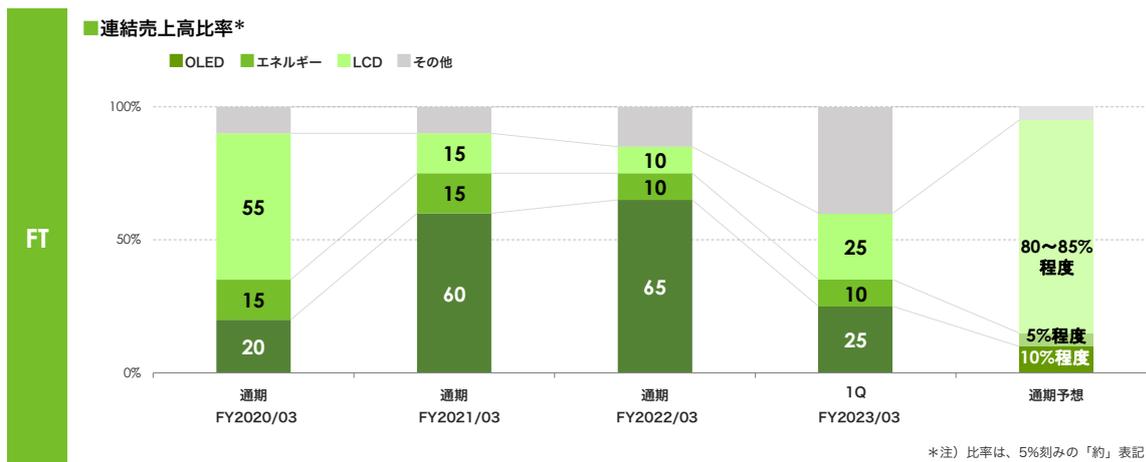
リカーリングビジネスは高位安定。利益率も回復



- インクを中心とするリカーリングビジネス (RB) は堅調に推移
- 部材不足、物流コスト高などを抑制しつつ、北米、欧州での旺盛化するPOD需要に注力
- 営業利益率 5%以上を安定維持

セグメント別概況

ディスプレイ市場は不透明、売上構成はLCD中心



- 1Q は、上海のロックダウンの影響を受け、売上、受注ともに低迷するも2Qでの回復を見込む
- 今期、ディスプレイ市場は不透明な環境を想定。売上の80~85%程度はLCDと予想
- 長期的には、エネルギー（新規事業）領域での成長に向け、事業ポートフォリオの変革を目指す

セグメント別概況

PE

■ ポストセールスは安定推移



- データセンター、パッケージ向け需要が引き続き旺盛
- 新製品 (Ledia Twinなど) の売上伸長
- 成長へ向け、新製品開発の強化継続

FY2023/03 業績予想 (2022年7月27日時点)

※ は過去最高

(億円)	FY2022/03 実績	FY2023/03 5月発表			FY2023/03 7月発表		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,118	2,195	2,405	4,600	2,150	2,450	4,600
SPE	3,193	1,820	1,900	3,720	1,775	1,975	3,750
GA	433	195	195	390	195	205	400
FT	332	110	215	325	110	175	285
PE	133	60	80	140	60	80	140
その他および調整	25	10	15	25	10	15	25
営業利益	612	320	425	745	345	400	745
営業利益率	14.9%	14.6%	17.7%	16.2%	16.0%	16.3%	16.2%
SPE	628	355*	425*	780*	375*	415*	790*
GA	16	10*	10*	20*	10*	15*	25*
FT	5	△10*	15*	5*	△10*	0*	△10*
PE	20	5*	15*	20*	10*	10*	20*
その他および調整	△58	△40*	△40*	△80*	△40*	△40*	△80*
経常利益	594	310	420	730	335	395	730
親会社株主に帰属する 当期純利益	454	220	280	500	260	240	500

注) FY2023/03 (通期) 想定為替レート>> 1USD=¥125、1EUR=¥135
 想定為替感応度 (通期営業利益ベース) >> 対USD: ¥1.7億、対EUR: ¥0.3億

* セグメント別営業利益予想: 5億円刻みの「約」表記

● 全社 (通期) :

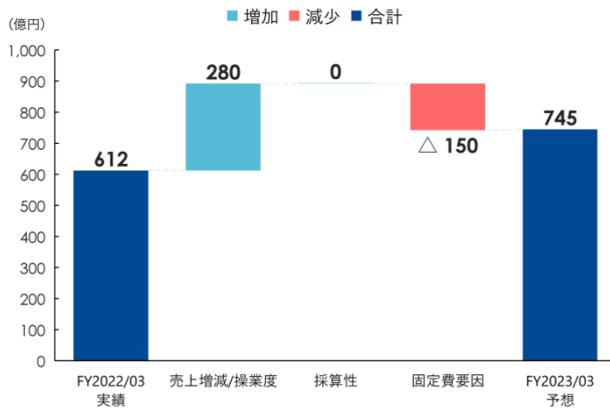
- ・ 通期予想は、5月発表時から据え置いています。
 売上高 (4,600億円)、営業利益 (745億円)、経常利益 (730億円)、親会社株主に帰属する当期純利益 (500億円) は、過去最高となる見込みです

● SPE :

- ・ 好調な市場環境を受け、売上、営業利益ともに過去最高となる見込みです

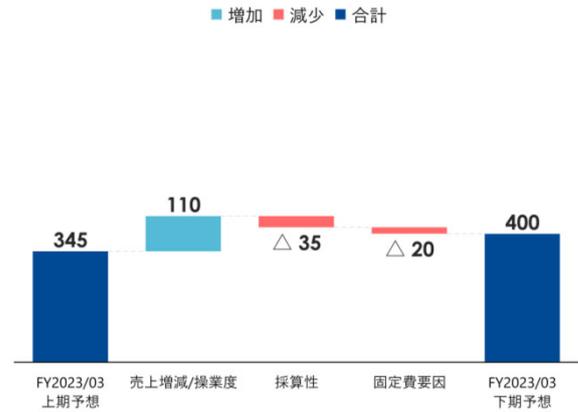
営業利益増減分析

FY2023/03 予想 (FY2022/03 実績比)



>>主にSPEでの売上増による利益増加を想定
 >>固定費の増加は主にSPE。成長に向けた研究開発、設備投資に伴う減価償却の増加、人員増に伴う人件費アップ等を見込む

FY2023/03 下期予想 (FY2023/03 上期予想比)



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>下期は、部材価格の高騰を織り込み、採算性の低下を想定
 >>研究開発費、SPE新工場 (S³-4) 等の4Q稼働に伴う固定費の増加を見込む

(億円)	1Q実績	上期予想	下期予想	通期予想
減価償却費	21	49	53	102
設備投資額*1	44	110	200	310
研究開発費*2	60	145	145	290

*1：SPEの生産・サービス体制強化への投資含む

*2：HD開発を強化し、LS分野、AI分野、ADPKG分野、水素関連分野への新製品開発を目指す

>>配当予想について

- ・親会社株主に帰属する当期純利益の増加を踏まえ増配を予定（5月予想、据え置き）
- ・中期経営計画の連結総還元性向30%以上方針に沿って、株主の皆様へ還元

(円)	通期
1株当たり配当予想	322

Topics>>

■半導体製造装置の生産・サービス体制を強化

～長期的な需要拡大を念頭に、彦根事業所と国内グループ会社3社において設備投資を実施～

- 彦根事業所に半導体製造装置の新工場「S³-5（エス・キューブファイブ）」を建設
2024年1月に操業開始予定
- 生産能力拡充のために、生産子会社SPEワークスの生産能力増強
- 保守サービス体制強化のため、熊本県の当社敷地内に新棟を建設。
熊本サービスステーションを集約し、トレーニングセンターも設置予定
- 洗浄装置の部品製造子会社SPEクォーツの生産能力増強
- 今回の設備投資により、SPE事業全体における生産能力は約20%*アップ
*「S³-4」稼働後の生産能力との比較。SCREEN SPE ワークス、SCREEN SPE クォーツでの投資効果を含む

■ 投資総額：約160億円>> ・新工場S³-5建設：約80億円
・国内グループ会社3社における投資：約80億円

>>生産能力の強化によってさらなるシェア拡大を目指すとともに、収益性向上と競争力強化を図る
>>省エネルギー対応の空調設備を導入するなど、生産設備の環境負荷低減に向けた取り組みについても継続

>>今中計の最終年度目標を更新し、次期中計ではもうワンランク上の成長を目指す

	経済的価値 最終年度の目標 (計画立案当初)	FY2021/03 (1年目 実績)	FY2022/03 (2年目 実績)	FY2023/03 (3年目 予想)	経済的価値 最終年度 (FY2024/03) の 目標 (見直し後)
売上高	4,000億円以上	3,203億円	4,118億円	4,600億円	5,000億円以上
営業利益率	15%以上	7.6%	14.9%	16.2%	17%以上
ROE	15%以上	7.9%	19.9%	20%以上	20%以上
営業CF	1,200億円以上 (4カ年累計)	572億円	1,389億円 (2カ年累計)	1,700~ 1,900億円 (3カ年累計)	2,400億円以上 (4カ年累計)
株主還元	連結総還元性向 30%以上	27.7%	30.1%	30.0%以上	連結総還元性向 30%以上

*上記5項目の数値目標はオーガニック・グロースを前提
*実績・予想の網掛背景値は当初目標の達成項目

■グループ

- ・イノベーションマネジメントの強化
- ・ROIC経営を深化
- ・ESG、気候変動対応などへの取り組み強化
- ・成長に向けて投資加速、リスクマネジメント強化

■SPE

- ・洗浄装置マーケットシェア向上
- ・収益構造改革の継続
- ・ポストセールス強化（顧客ニーズに基づく改造販促を継続）
- ・SCMの強化によるCCCの改善・継続（在庫コントロール、LT短縮など）
- ・新工場「S³-4」「S³-5」の稼働で、旺盛な半導体製造装置需要へ対応できる生産体制を構築

GA

- ・ 商業印刷、パッケージ市場向けインクジェット(IJ)製品の拡充
- ・ リカーリングビジネスの強化（収益安定化を図る）

FT

- ・ 大型OLED TV向けインクジェット装置の事業化
（顧客の設備投資計画に合わせ、次期中期計画での売上を目指す）
- ・ エネルギー関連ビジネスの事業化（共同開発を基軸に早期事業化）

PE

- ・ 既存装置群のシェア向上
- ・ 新製品開発に取り組み、上市を目指す

新規事業

- ・ ライフサイエンス、最終年度の黒字化
- ・ 新規プロジェクト、次期中計に向けて事業化を加速

最近のグループニュース (Webサイトより抜粋 : 2022年5月12日~7月27日)

HD

- AFIテクノロジーの株式取得 (子会社化) に関するお知らせ (2022.7.1)
- 琵琶湖博物館と小学生向けのワークショップを開催
～琵琶湖の生物多様性の大切さを次世代に～ (2022.7.25)

SPE

- 半導体業界全体の環境負荷低減に向けた取り組みを強化 (2022.5.26)
～持続可能な社会の実現に向けて、環境対応開発を加速～
- 半導体製造装置の生産・サービス体制を強化 (2022.7.27)
～彦根事業所ならびに国内グループ会社3社において設備投資を実施～

GA

- 「Truepress Jet L350UVシリーズ」が出荷台数200台を達成 (2022.5.24)

ESG関連の取り組み

■ E（環境）：気候変動に対する取り組みと環境経営の実現

- 半導体業界全体の環境負荷低減に向けた取り組みを強化
 - SPEが、ベルギーの研究機関 imecが進める新たな研究プログラムに参画（詳細はP30を参照）
- 日本経済新聞社「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業200社」に選定

■ S（社会）：ディーセントワーク*の実現と社会的価値の創造

- 健康経営の基盤強化
 - 健康づくりセミナーの開催（第1回：6月、以降7月、9月の全3回を予定、国内グループ従業員対象）

*働きがいのある人間らしい仕事

■ G（ガバナンス）：リスクに強いガバナンス体制と組織づくり

- コーポレート・ガバナンス報告書の更新（7月8日）



半導体業界全体の環境負荷低減に向けた取り組みを強化

～持続可能な社会の実現に向けて、環境対応開発を加速～

(株) SCREENセミコンダクターソリューションズは、半導体業界全体の環境負荷低減への取り組みをさらに強化。ベルギーの研究機関 imec*¹が進める半導体業界全体の環境負荷低減に関する新たな研究プログラム「SSTS*²」に参画を決定。

*1 : imec (Interuniversity Microelectronics Centre)

ナノエレクトロニクス研究で世界をリードする研究機関。科学的知識に基づく技術革新を目指し、情報通信・ヘルスケア・エネルギー技術について世界中の企業と共同研究を行う。ベルギー王国ルーベン市に本部を構え、ベルギー・オランダ・台湾・米国・中国・インド・日本に拠点がある

*2 : SSTS

imecが持つインフラ、技術、装置における知見を活用し、確立された信頼性の高いモデルと、カーボンフットプリントの詳細な分析技術を用いて、半導体製造工程が環境に与える影響を予測することにより、半導体バリューチェーン全体の環境負荷低減を支援する取り組み

>>世界規模での半導体デバイス需要増加により、製造工程における環境負荷の低減が業界の共通課題
>>半導体製造工程における環境負荷を低減することで、社会の発展と同時に持続可能な社会の実現を目指す

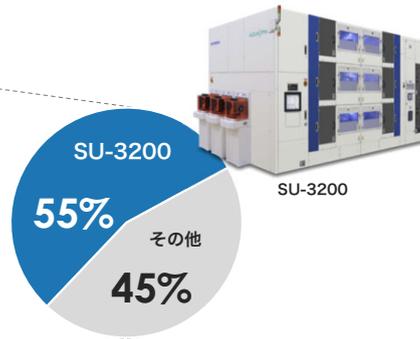
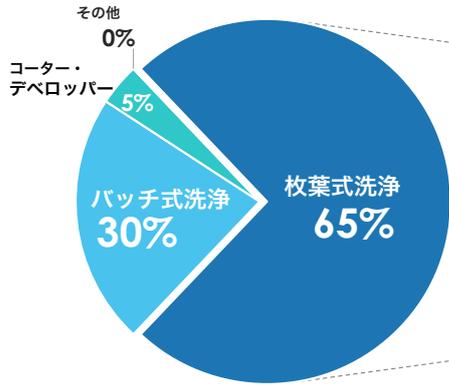
前年同期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	1Q	1Q		
(億円)				
売上高	597	846	248	41.6%
営業利益 営業利益率	88 14.9%	188 22.3%	99	111.9% 7.4pt

前四半期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	4Q	1Q		
(億円)				
売上高	932	846	△86	△9.3%
営業利益 営業利益率	214 23.0%	188 22.3%	△25	△12.1% △0.7pt

製品別売上高比率 - FY2023/03 1Q



(%)	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03 1Q
枚葉	65	70	70	65
バッチ	25	25	25	30
コーデベ	5	5	5	5
その他	5	0	0	0

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix>> セグメント別業績

GA

前年同期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	1Q	1Q		
(億円)				
売上高	96	105	9	9.5%
営業利益 営業利益率	2 2.7%	6 6.4%	4	156.4% 3.6pt

前四半期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	4Q	1Q		
(億円)				
売上高	123	105	△18	△14.8%
営業利益 営業利益率	5 4.3%	6 6.4%	1	25.7% 2.1pt

Appendix>> セグメント別業績

FT

前年同期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	1Q	1Q		
(億円)				
売上高	102	30	△72	△70.3%
営業利益 営業利益率	2 2.2%	△8 △27.0%	△10	- △29.2pt

前四半期比

	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	4Q	1Q		
(億円)				
売上高	101	30	△71	△69.9%
営業利益 営業利益率	7 7.2%	△8 △27.0%	△15	- △34.2pt

Appendix>> セグメント別業績

PE

前年同期比

(億円)	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	1Q	1Q		
売上高	23	33	9	42.6%
営業利益 営業利益率	2 9.0%	4 14.0%	2	122.1% 5.0pt

前四半期比

(億円)	FY2022/03	FY2023/03	増減	
	4Q	1Q		
売上高	40	33	△7	△18.0%
営業利益 営業利益率	5 12.9%	4 14.0%	△0	△11.2% 1.1pt

Appendix>> 主要数値の変遷

(億円)	FY2018/03	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03 予想
売上高	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,600
営業利益	427	296	125	244	612	745
営業利益率 (%)	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.2
総資産	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	-
自己資本	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	-
自己資本比率 (%)	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	-
ROE (%)	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	-
減価償却費	57	68	88	96	95	102
設備投資額	144	240	79	78	134	310
研究開発費	208	228	215	215	240	290
EPS (円)	608.62	387.10	107.37	325.21	976.55	1,058.01
期末配当 (円)	110	97	30	90	293	322



Innovation for a Sustainable World